

鳥取港におけるケーソン製作

1. 鳥取港における整備事業の概要

現在の鳥取港における主要な航路は千代航路ですが、波浪による港内静穏度の不足、周辺からの砂や河川からの流木等の流入による航路埋没や泊地閉塞により港湾機能に支障を生じています。

そこで、主要な航路を『西浜航路』に切り替えるため、防波堤の整備等の事業を実施しているところです。

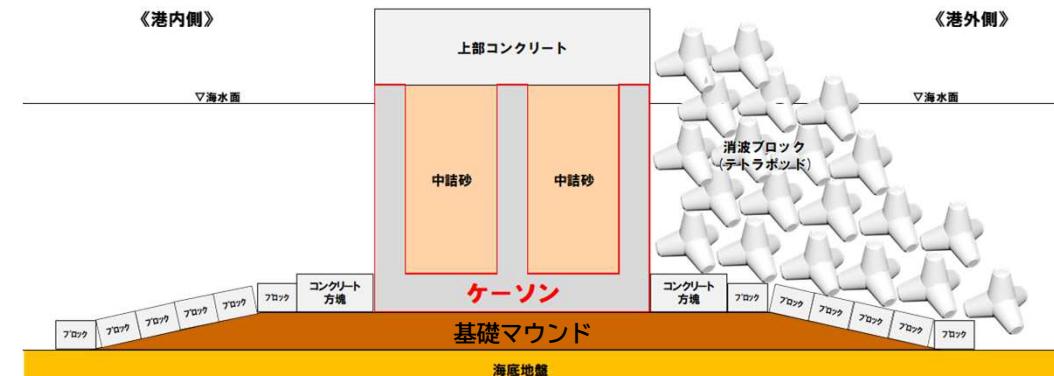
- 第1防波堤の延伸
- 第2防波堤の延伸
- etc



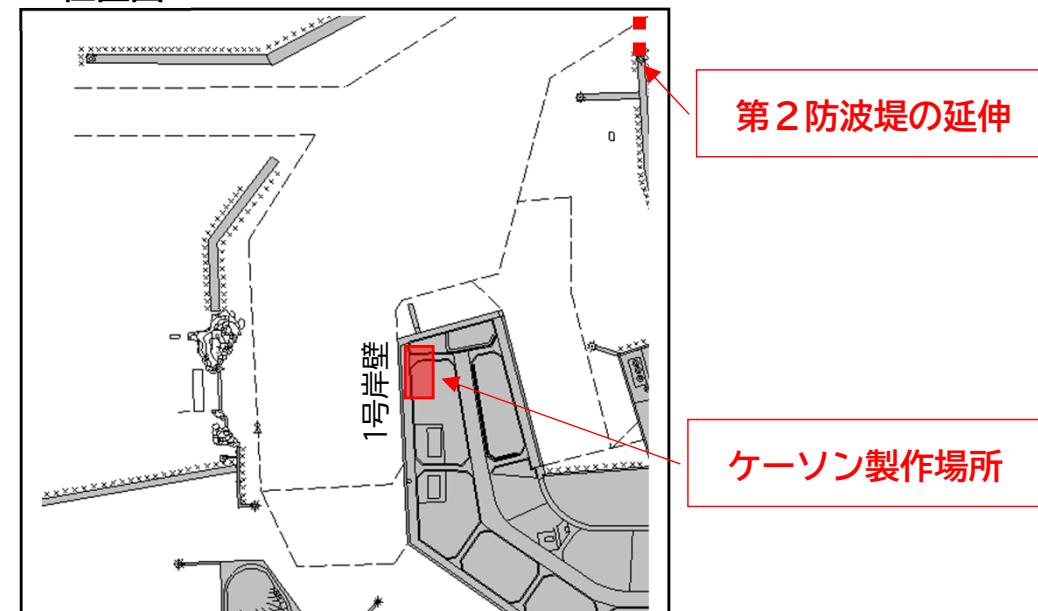
2. 鳥取県が実施する第2防波堤延伸

鳥取県では、第2防波堤延伸事業に着手しており、今年度から防波堤の本体を成す『ケーソン』（コンクリート製の箱のよくなもの）を1号岸壁で製作しているところです。
(今年5月上旬にはケーソン5函の製作が完了する見込)

防波堤の標準構造



■位置図



鳥取港におけるケーソン製作

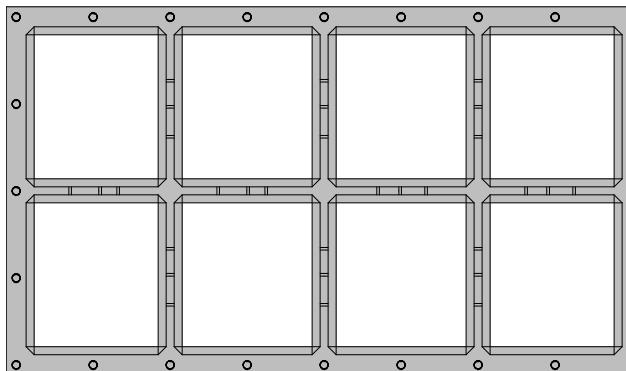
3. 鳥取港で製作しているケーソン

ケーソンとは、防波堤などに使用されるコンクリート製の大きな箱です。

製作したケーソンは、中が空洞になっており海に浮かべることができるため、設置する場所まで船で引っ張っていきます。お風呂に風呂おけやカップを浮かべるイメージです。

平面図

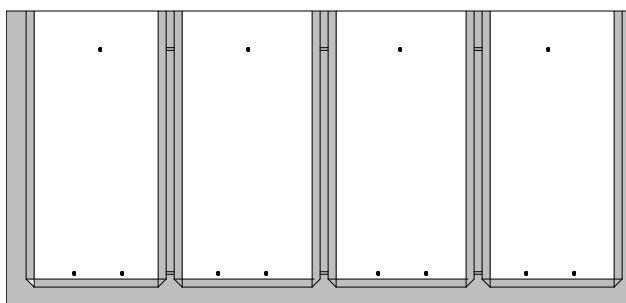
長辺15.90m



項目	数値
高さ [m]	7.50m
幅(長辺) [m]	15.90m
幅(短辺) [m]	9.20m
重量 [トン]	769.98トン

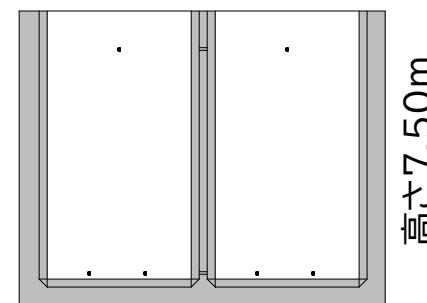
断面図

長边15.90m

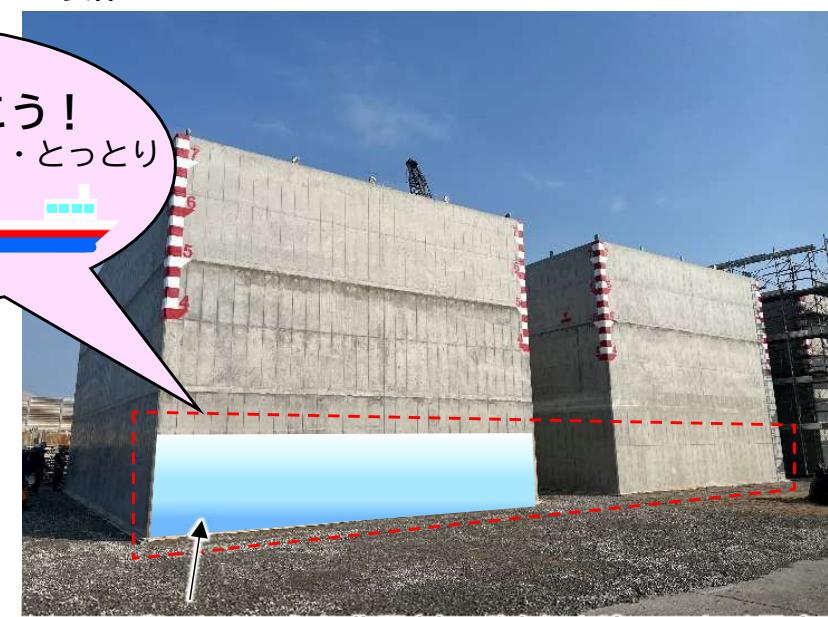


断面図

短辺9.20m



～製作したケーソン～



イメージしやすいよう背景(空・海)色を塗っておく予定。

《絵画イベントの事例》
沖縄県 平良港湾事務所HPより

